

調査結果の概要

1 幼児を対象とした調査

(1) 回答者数

調査対象者 2,612 人のうち回答者は 1,744 人 66.8% であった。

(2) 調査結果

今までにフッ素塗布を受けたことがあるのは、929 人 (53.3%) であり、平成 13 年度 (47.2%) と比較し 6.1% 増えている。

フッ素塗布を受けた場所は市町村保健センターが、546 人 (58.8%) と最も多く、次いで歯科医院 346 人 (37.2%) となっていた。また、フッ素配合歯みがき剤を使っているのは、920 人 (52.8%) となっている。

年度	H13	H17	目標値
今までにフッ素塗布を受けた割合	926 (47.2%)	929 (53.3%)	50%

夜寝る前に甘い食べ物、飲み物を飲食する習慣のないのは、1,744 人中 948 人 (54.4%) となっている。

年度	H13	H17	目標値
夜寝る前に甘い食べ物、飲み物を飲食する習慣のない割合	777 (54.5%)	948 (54.4%)	80%

2 12 歳児を対象とした調査

(1) 回答者数

調査対象者 3,276 人のうち回答者は 3,007 人 91.8% であった。

(2) 調査結果

歯みがきの時歯ぐきから血がでることが、「よくある」のは 212 人 (7.1%) 「時々ある」のは 851 人 (28.3%) であった。「よくある」「時々ある」の合計では 1063 人 (35.4%) と平成 13 年度に比較し減少している。

歯みがきの時の出血

年度	H13	H17	目標値
よくある	253 (9.1%)	212 (7.1%)	—
時々ある	962 (34.5%)	851 (28.3%)	—
計	1215 (43.6%)	1063 (35.4%)	20%

デンタルフロスを使っているのは、「いつも使う」61 人 (2.0%) 「時々使う」487 人 (16.2%) であった。合計では平成 13 年度に比較し増加している。

デンタルフロスを使用

年度	H13	H17	目標値
いつも使う	122 (4.4%)	61 (2.0%)	—
時々使う	323 (11.6%)	487 (16.2%)	—
計	445 (16.0%)	548 (18.2%)	30%

3 成人を対象とした調査

(1) 回答者数

調査対象者 2,320 人のうち回答者は 1,036 人 44.7%であった。

(2) 調査結果

現在歯の状況

40歳 27.6本, 50歳 26.0本, 64歳 22.7本, 80歳で 13.1本となっている。平成13年度と比較すると 64歳で 1.5本, 80歳で 2本多くなっている。

年度	H13	H17	目標値
40歳	27.1本	27.6本	—
50歳	26.0本	26.0本	—
64歳	21.2本	22.7本	24本
80歳	11.1本	13.1本	20本

歯肉の状況

歯周病の自覚症状のある者の割合は、40歳が 36.3%, 50歳が 45.6%であった。50歳代では平成13年度と比較し増加している。

年度	H13	H17	目標値
40歳	126 (37.6%)	91 (36.3%)	25%
50歳	155 (40.1%)	135 (45.6%)	30%

意識に関する状況

茨城県歯科保健目標(8020及び6424)を知っている割合は、206人で 19.9%であった。平成13年度(18.6%)と比較し増加している。

区分	H13	H17	目標値
茨城県歯科保健目標(8020及び6424)を知っている割合	246 (18.6%)	206 (19.9%)	80%

行動に関する状況

歯科医師や歯科衛生士から歯の磨き方の指導を受けたことがあるのは、648人(62.5%)であった。平成13年度(53.5%)と比較し増加している。

区分	H13	H17	目標値
歯科医師や歯科衛生士から歯の磨き方の指導を受けたことがある	706 (53.5%)	648 (62.5%)	80%